

生薬学雑誌投稿規定

昭	40.	7.	29	決	定
昭	46.	5.	8	一部改	定
昭	52.	9.	30	一部改	定
昭	61.	10.	24	一部改	定
平	4.	4.	18	一部改	定
平	6.	2.	4	一部改	定
平	8.	1.	28	一部改	定
平	9.	1.	16	一部改	定
平	12.	9.	8	一部改	定
平	15.	9.	12	一部改	定
平	17.	6.	20	一部改	定
平	19.	9.	15	一部改	定
平	20.	8.	20	一部改	定
平	20.	12.	12	一部改	定
平	21.	12.	9	一部改	定
令	4.	3.	25	一部改	定
令	4.	12.	17	一部改	定

1. 原稿の種類 原稿は天然薬物およびそれに関連する食品・化粧品等（以下天然薬物等）の研究に関連した領域のものとし、投稿される論文は、その内容が未発表および未投稿であって、独創的な知見を含むものに限り、用語は天然薬物ノート以外は日本語とします。

(イ) 原報 著者の独創的研究によって得られた有意義な新知見を含む一般論文。

(ロ) ノート 断片的な研究であっても新しい事実や価値あるデータを含む論文。原則として4頁以内とします。

(ハ) 総説 原則として本会から執筆を依頼する論文。一般会員の寄稿も歓迎しますが、そのときは予め編集委員会に連絡してください。

(ニ) 資料 天然薬物等の調査、生物活性スクリーニング、生薬の品質評価・定量法などに関する資料。

(ホ) 天然薬物ノート (Natural Medicine Note) 天然薬物等からの既知化合物の単離などに関する論文。投稿原稿は英文2頁とします。投稿原稿は「Format of Typed Manuscript」に従って作成して下さい。原則として、天然薬物等の名称、基原名、用途、過去の研究、抽出・分離・同定法、引用文献などを簡潔に記したものとします。ただし、投稿に際しては、原稿とは別に別紙に記載した実験の部（原報と同様）を審査用として提出してください。

2. 原稿作成

(I) カメラレディー用原稿で投稿する際は「和文原稿の体裁」に従って作成してください。体裁のように連絡著者はその名前の右肩にアスタリスク(*)を付し、脚注にE-mailアドレスを記載してください。天然薬物ノートの投稿原稿は「Format of Typed Manuscript」に従って作成して下さい。

(II) カメラレディー用原稿以外で投稿する場合は、A4白地用紙にダブルスペースで印字し、通しページを記入してください。原稿は、論文題名、著者名、所属機関、所在地、英文タイトル、著者英名、所属機関英名、所在地英名、英文要旨（200～250字程度）、4～6語のキーワード、本文、謝辞、引用文献の順に記載してください。連絡著者はその名前の右肩にアスタリスク(*)を付し、E-mailアドレスを記載してください。著者の所属機関が複数の場合は、上付のa, b, c..., を著者名の後および所属機関の前に付してください。構造式・図・表等は原則として著者の作成したものをそのまま版下に用います。投稿原稿の採用が決定した場合には、最終原稿および図表などの電子データを提出する必要があります。

原稿は横書とし、かなづかいには現代かなづかいを用い、

漢字はやむを得ない術語のほかはなるべく常用漢字で書くようにとめてください。中国語で用いられている新しい簡略字体については、書名、人名などの固有名詞についてのみ用いてください。形態に関する用語の略号は、本誌第47巻1号、84～101ページに従ってください。資料の原稿は原則として原報と同様に作成するものとしますが、内容に応じて適宜変更してもかまいません。原稿中の英数字はフォントをTimesとしてください。

a) 略語：初出時にスペルアウトし、その直後に略語を（ ）内に示し、以下それを用いてください。定義しないで使用できる略号は次のとおりです。

AIDS (acquired immunodeficiency syndrome), ATP (adenosine 5'-triphosphate), cAMP (adenosine 3', 5'-cyclic monophosphate), CD (circular dichroism), cDNA (complementary DNA), CoA (coenzyme A), COSY (correlated spectroscopy), DNA (deoxyribonucleic acid), ED₅₀ (50% effective dose), EI-MS (electron ionization mass spectrometry), ESCA (electron spectroscopy for chemical analysis), ESR (electron spin resonance), FAB-MS (fast atom bombardment mass spectrometry), FAD (flavin adenine dinucleotide), GC-MS (gas chromatography-mass spectrometry), HMBC (heteronuclear multiple bond connectivity), HMQC (heteronuclear multiple quantum coherence), HPLC (high-pressure liquid chromatography, high-performance liquid chromatography), HSQC (heteronuclear single quantum coherence), IC₅₀ (inhibitory concentration, 50%), IR (infrared), LD₅₀ (50% lethal dose), mRNA (messenger RNA), MS (mass spectrum), NMR (nuclear magnetic resonance, as ¹³C-NMR, ¹H-NMR), NOE (nuclear Overhauser effect), NOESY (nuclear Overhauser and exchange spectroscopy), ORD (optical rotatory dispersion), P450 (as in cytochrome P450), RNA (ribonucleic acid), rRNA (ribosomal RNA), TLC (thin-layer chromatography), tRNA (transfer RNA), UV (ultraviolet)

b) 単位

length (m, cm, mm, μm, nm, Å), mass (kg, g, mg, μg, ng, pg, mol, mmol), volume (l, ml, μl), time (s, min, h, d), temperature (°C, K), radiation (Bq, Ci, dpm, Gy, rad), concentration (M, mM, mol/l, mmol/l, mg/ml, μg/ml, %, % (v/v), % (w/v), ppm, ppb)

c) スペクトル、元素分析等の記載例

[α]_D²³ -74.5° (c 1.0, MeOH). ¹H-NMR (CDCl₃) δ :1.25

(3H, d, $J=7.0$ Hz), 3.55 (1H, q, $J=7.0$ Hz), 6.70 (1H, m). ^{13}C -NMR (CDCl_3) δ : 20.9 (q), 71.5 (d), 169.9 (s). IR (KBr) cm^{-1} : 1720, 1050, 910. UV λ_{max} (H_2O) nm ($\log \epsilon$): 280 (3.25). MS m/z : 332 (M^+), 180, 168. HRFAB-MS m/z : 332.1258 (Calcd for $\text{C}_{18}\text{H}_{20}\text{O}_6$: 332.1259). *Anal.* Calcd for $\text{C}_{19}\text{H}_{21}\text{NO}_3$: C, 73.29; H, 6.80; N, 4.50. Found: C, 73.30; H, 6.88; N, 4.65.

d) **命名法**: 化合物の命名法は、IUPAC 制定の命名規則に従うかまたは、*Chem. Abstr.* の索引の命名法ならびに Ring Index の命名法に準じてください。

e) **X 線結晶解析**

結晶解析による構造が論文において重要な部分を構成するときには、審査のための補助資料として Cambridge Crystallographic Data Base (CCDB) に登録するために必要なデータを添付してください。結晶解析が補助的に用いられているときは、crystal data (unit cell parameters, space group, Z density), R-factor を記載してください。Atomic coordinates は、構造が重要なときに記載してください。また、bond lengths and angles, thermal parameters, torsion angles 等は論文の議論にとって重要なときに掲載してください。論文が採用された場合は、CCDB 登録をしてください。

f) **引用文献**: 出現順に通し番号を付け、文中右肩に右片カッコ付きのアラビア数字で示してください。番号は、引用文献毎に付け、同じ文献番号に複数の文献を引用しないでください。引用文献リストは、“References and Notes” として論文末尾に一括して記載してください。雑誌名の略称は *Chem. Abstr.* に準じ、和文雑誌については正式名または当該の雑誌で指定する略記法に従い英名で、また英名がないものはローマ字で表記してください。単行本は英名がないものはローマ字で表記してください。

(例)

- 1) Cai S.Q., Namba T., *Shoyakugaku Zasshi*, **43**, 177-187 (1989).
- 2) Shibata S., *Natural Medicines*, **53** (Supple. 2), 13-16 (1999).
- 3) Fujita T., “Towards Natural Medicine Research in the 21st Century,” eds. by Ageta H., Aimi N., Ebizuka Y., Fujita T., Honda G., Elsevier, Amsterdam, 1998, pp. 89-101.
- 4) Tanaka O., Yakuyo Ninjin—Sono Kenkyu To

Shinpo,” eds. by Oura H., Kumagai A., Shibata S., Takagi K., Kyoritsu Shuppan, Tokyo, 1981, pp. 42-66.

- 5) Brunner A., Greune H., U.S. Patent 1910462 (1933) [*Chem. Abstr.*, **27**, 4092 (1933)].

3. **原稿の送り先** 本原稿1部、コピー2部、原稿送付状を「〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会誌刊行センター 生薬学雑誌編集部」宛送付してください。原稿送付状には論文種類、連絡著者の所属、所在地、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを必ず記載してください。原稿到着日を受付日付とします。郵送の場合は表に「生薬学雑誌原稿」と朱書してください。到着と同時に投稿者にその旨通知します。

4. **原稿の採否** 原稿の採否は少なくとも2名の査読者による審査後、編集委員会で決定します。不採用または原稿の一部訂正を必要とするときはその旨通知し、必要があるときは原稿の細部の体裁の変更をお願いすることがあります。

5. **投稿料および別刷料** 原稿が印刷発行されてから1か月以内に以下に定める料金を本会の請求に応じてお支払いいただけます。

(I) カメラレディー原稿の場合:

原稿投稿料 (別刷 25 部を含む) は、一律最高 20,000 円とする (4 頁までは 1 頁 4,000 円, 5 頁以上は一律 20,000 円)。カラー印刷, 写真入り原稿 実費

(II) カメラレディー用原稿以外で投稿する場合:

原稿投稿料 (別刷 25 部を含む) 1 頁につき 5,000 円。ただし、ノート、天然薬物ノートで上記規定頁数を超過する論文の場合は、制限頁数を超過した分について、1 頁につき 8,000 円をお支払いいただきます。カラー印刷, 写真入り原稿 実費

(III) 所定部数以上の別刷を希望するときは、掲載決定後にその部数を申し込んでください。この分については 1 部につき 100 円をお支払いいただきます。

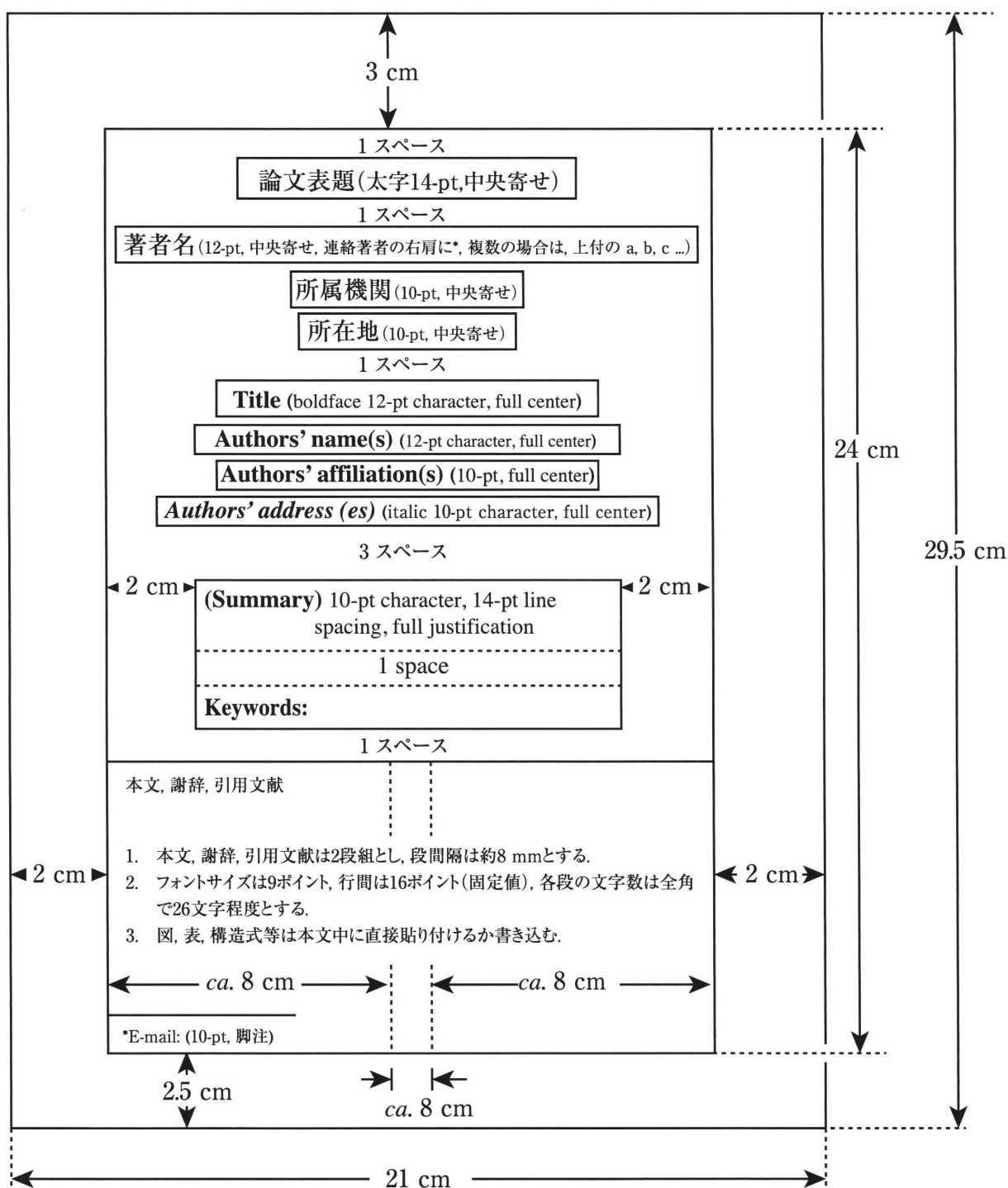
6. **発行期日** 原則として毎年 2 月 20 日と 8 月 20 日を発行日とします。

7. **著作権** 本誌に掲載された論文についての著作権は、日本生薬学会に帰属します。

8. **転載許諾書に関する問合せ先** 本誌に掲載された著作物の転載を希望される場合は、3. に記載されている「学会誌刊行センター 生薬学雑誌編集部」まで書面にてお申し込み下さい。

和文原稿の体裁 (用紙サイズA4)

原則として明朝体フォントを使用する。(英字は Times font を用いる。)



Format of Typed Manuscript (Size A4, app. 21x 29.5 cm)

A Times font is recommended for English manuscripts.

